

令和 6 年 3 月

入札参加者各位

太子町

建設工事等の入札における最低制限価格の算出方法について
＜ランダム係数を用いた最低制限価格の算出＞

令和 6 年 4 月 1 日以降に入札告示および通知する建設工事等の入札において設定する最低制限価格は、以下の方法で算出します。

1 対象

太子町が発注する「建設工事」及び「建設コンサルタント等」のうち、制限付一般競争入札又は指名競争入札に付す案件で、最低制限価格を設定するもの。

2 最低制限価格について

最低制限価格は、最低制限基本価格にランダム係数を乗じて算出します。(一円未満の端数は切り捨てます。)

$$\text{最低制限価格} = \text{最低制限基本価格} \times \text{ランダム係数 (1.00000} \sim \text{1.00100)}$$

3 最低制限基本価格について

最低制限基本価格は、別紙に定める計算式を用いて算出します。

4 ランダム係数について

(1) ランダム係数の決定方法

【電子入札システムを利用する場合】

入札参加者が入力する 3 桁のくじ番号と入札書受信日時を用いて開札時自動的に決定します。

【電子入札システムを利用しない場合】

気象庁の発表する開札日前日の姫路地点における現地平均気圧と平均気温を合算し、10 倍したものを 101 で除して余りを求めて決定します。

(気象庁 HP: <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/synopday/index.html>)

(2) ランダム係数の公表

決定したランダム係数は、落札決定後に入札結果とあわせて公表します。

5 最低制限価格の特例について

予定価格以下の全ての入札金額が、最低制限基本価格にランダム係数を乗じて算出した価格を下回った場合は、特例として、最低制限基本価格を最低制限価格とします。(最低制限基本価格以上の入札がある場合に限る。)

最低制限基本価格の算出方法について
(令和 7 年 4 月以降適用)

「工事請負契約に係る低入札価格調査基準中央公共工事契約制度運用連絡協議会モデル（中央公契連モデル）を参考とし、区分に応じて、表中の算出式を基準に最低制限基本価格を算出します。

○ 建設工事

(1) 区分毎の算出式

区 分	算 出 式
一般土木工事 (土木一式、舗装、造園工事等)	$\begin{aligned} & [\text{直接工事費}] \times 0.97 \\ & + [\text{共通仮設費}] \times 0.9 \\ & + [\text{現場管理費}] \times 0.9 \\ & + [\text{一般管理費等}] \times 0.68 \end{aligned}$
一般建築工事 (建築一式、電気、管工事等)	$\begin{aligned} & [\text{直接工事費} \times 0.9] \times 0.97 \\ & + [\text{共通仮設費}] \times 0.9 \\ & + [(\text{直接工事費} \times 0.1) + \text{現場管理費}] \times 0.9 \\ & + [\text{一般管理費等}] \times 0.68 \end{aligned}$
機器費を計上している 機械設備工事・電気設備 工事等	$\begin{aligned} & [(\text{機器費} \times 0.6) + \text{直接工事費}] \times 0.97 \\ & + [(\text{機器費} \times 0.1) + \text{共通仮設費}] \times 0.9 \\ & + [(\text{機器費} \times 0.2) + \text{現場管理費}] \times 0.9 \\ & + [(\text{機器費} \times 0.1) + \text{一般管理費等}] \times 0.68 \end{aligned}$ ※据付間接費・設計技術費等の経費は現場管理費に含む。
建設工事関連維持管理 業務（除草等）	$\begin{aligned} & [\text{直接工事費}] \times 0.9 \\ & + [\text{共通仮設費}] \times 0.9 \\ & + [\text{現場管理費}] \times 0.9 \\ & + [\text{一般管理費等}] \times 0.68 \end{aligned}$
解体工事	$[(\text{直接工事費} + \text{共通仮設費} + \text{現場管理費} + \text{一般管理費等})] \times 0.75$

※これによることが出来ない場合は、個別に設定します。

(2) 設定範囲：予定価格（設計価格）に 0.75 を乗じた額（下限）から予定価格に 0.92 を乗じた額（上限）の範囲

○ 建設コンサルタント等

(1) 区分毎の算出式

区 分	算 出 式
測量業務	$\begin{aligned} & \text{〔直接測量費〕} \times 1.0 \\ & + \text{〔測量調査費〕} \times 1.0 \\ & + \text{〔諸経費〕} \times \underline{0.5} \end{aligned}$
土木関係の建設コンサルタント業務	$\begin{aligned} & \text{〔直接人件費〕} \times 1.0 \\ & + \text{〔直接経費〕} \times 1.0 \\ & + \text{〔その他原価〕} \times 0.9 \\ & + \text{〔一般管理費等〕} \times \underline{0.5} \end{aligned}$
建築関係の建設コンサルタント業務	$\begin{aligned} & \text{〔直接人件費〕} \times 1.0 \\ & + \text{〔特別経費〕} \times 1.0 \\ & + \text{〔技術料等経費〕} \times 0.6 \\ & + \text{〔諸経費〕} \times 0.6 \end{aligned}$
地質調査業務	$\begin{aligned} & \text{〔直接人件費〕} \times 1.0 \\ & + \text{〔間接調査費〕} \times 0.9 \\ & + \text{〔解析等調査業務費〕} \times 0.8 \\ & + \text{〔諸経費〕} \times \underline{0.5} \end{aligned}$
補償関係業務	$\begin{aligned} & \text{〔直接人件費〕} \times 1.0 \\ & + \text{〔直接経費〕} \times 1.0 \\ & + \text{〔その他原価〕} \times 0.9 \\ & + \text{〔一般管理費等〕} \times \underline{0.5} \end{aligned}$

※これによることが出来ない場合は、個別に設定します。

(2) 設定範囲：下表の区分毎に、予定価格（設計価格）に下限割合を乗じた額（下限）から予定価格に上限割合を乗じた額（上限）の範囲

区 分	下 限 割 合	上 限 割 合
測量業務	10分の6	10分の8.2
建設コンサルタント業務	10分の6	10分の8.1
地質調査業務	3分の2	10分の8.5
補償関係業務	10分の6	10分の8.1

○ 最低制限基本価格の算出における端数処理の取り扱い

- ① 算出式費目ごと見積額×乗率＝費目別の最低制限基本価格（1千円未満切捨）
 費目別の最低制限基本価格を合計
 ※解体工事については、費目別の見積額の合計×乗率で得た価格
 ※算出した最低制限基本価格が設定範囲を超えた場合は、その下限又は上限の価格
- ② ①の価格を下記の区分により最終端数処理
 - ・1千万円未満＝1千円止め（1千円未満切捨）
 - ・1千万円以上、1億円未満＝1万円止め（1万円未満切捨）
 - ・1億円以上＝10万円止め（10万円未満切捨）

【 ランダム係数の決定及び最低制限価格の算出例 】

1 ランダム係数の決定方法（(ア)以外は、電子入札システム内で自動計算）

(ア) 入札書提出時に、入札参加者が「入力くじ番号①」として任意の3桁の数値を入力します。

(イ) 入札書提出日時を用いて「システム割付番号②」を算出します。「システム割付番号②」には、基準時刻（1970年1月1日00:00:00 GMT）から入札書提出日時までの経過時間を秒で換算した値の下3桁を使用します。

(ウ) ①と②を合算して、「確定割付番号③」を算出します。

(エ) 入札参加者の確定割付番号③の合計を、ランダム係数のパターン数である「101」で除し、余りを算出します。

⇒下記例の場合は、 $1480 + 712 + 965 + 1125 + 977 = 5259$

$5259 \div 101 = 52$ 余り7 となります。

(オ) 別表「ランダム係数表」中、(エ)で算出した余りに対応する値を、当該入札でのランダム係数とします。

⇒「余り7」の場合のランダム係数は、1.00007 となります。

入札参加者	入札金額（円）	入力くじ番号①	入札書提出日時 （経過時間）	システム割付番号②	確定割付番号 ③＝①＋②
A社	13,970,000	868	R5.9.27 12:00:12 (1695783612)	612	1480
B社	13,972,794	157	R5.9.28 9:05:55 (1695859555)	555	712
C社	15,600,000	355	R5.9.28 10:13:30 (1695863610)	610	965
D社	13,981,176	555	R5.9.27 10:19:30 (1695777570)	570	1125
E社	13,890,000	777	R5.9.28 14:00:00 (1695877200)	200	977

2 最低制限価格の算出例

<算出例>

最低制限基本価格 13,970,000 円

ランダム係数 1.00007

最低制限価格 $13,970,000 \text{ 円} \times 1.00007 = \underline{13,970,977 \text{ 円}}$ （一円未満切り捨て）

<入札結果例>

予定価格 15,535,000 円

入札参加者	入札金額（円）	備考
C社	15,600,000	予定価格超過
D社	13,981,176	
B社	13,972,794	落札(候補)者
A社	13,970,000	最低失格
E社	13,890,000	最低失格

高
入
札
金
額
低

予定価格
15,535,000 円

最低制限価格
13,970,977 円

※ 上記の場合、B社が「落札(候補)者」となります。

※ 入札書に記載する金額は、円単位とします。

別表 ランダム係数表

余り	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ランダム係数	1. 00000	1. 00001	1. 00002	1. 00003	1. 00004	1. 00005	1. 00006	1. 00007	1. 00008	1. 00009
余り	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
ランダム係数	1. 00010	1. 00011	1. 00012	1. 00013	1. 00014	1. 00015	1. 00016	1. 00017	1. 00018	1. 00019
余り	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
ランダム係数	1. 00020	1. 00021	1. 00022	1. 00023	1. 00024	1. 00025	1. 00026	1. 00027	1. 00028	1. 00029
余り	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
ランダム係数	1. 00030	1. 00031	1. 00032	1. 00033	1. 00034	1. 00035	1. 00036	1. 00037	1. 00038	1. 00039
余り	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
ランダム係数	1. 00040	1. 00041	1. 00042	1. 00043	1. 00044	1. 00045	1. 00046	1. 00047	1. 00048	1. 00049
余り	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
ランダム係数	1. 00050	1. 00051	1. 00052	1. 00053	1. 00054	1. 00055	1. 00056	1. 00057	1. 00058	1. 00059
余り	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
ランダム係数	1. 00060	1. 00061	1. 00062	1. 00063	1. 00064	1. 00065	1. 00066	1. 00067	1. 00068	1. 00069
余り	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
ランダム係数	1. 00070	1. 00071	1. 00072	1. 00073	1. 00074	1. 00075	1. 00076	1. 00077	1. 00078	1. 00079
余り	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
ランダム係数	1. 00080	1. 00081	1. 00082	1. 00083	1. 00084	1. 00085	1. 00086	1. 00087	1. 00088	1. 00089
余り	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
ランダム係数	1. 00090	1. 00091	1. 00092	1. 00093	1. 00094	1. 00095	1. 00096	1. 00097	1. 00098	1. 00099
余り	100									
ランダム係数	1. 00100									